

住宅用太陽熱温水器用 2バルブシャワーバス金具 他熱源併用型

TOTO

ご愛用のしおり

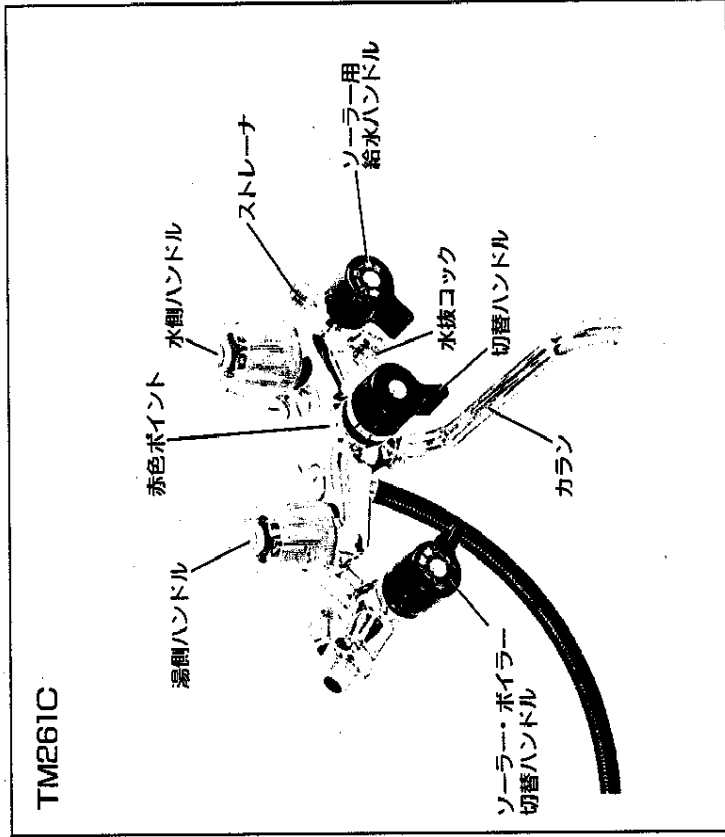
- このたびは、TOTO住宅用太陽熱温水器用2バルブシャワーバス金具他熱源併用型をお求めいただきました。また、誠にありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ

| | |
|-----------|------|
| 増長・各部のなまえ | 1 |
| つかいかた | 2～6 |
| 使用上の注意 | 7 |
| ストレーナの掃除 | 8 |
| 凍結予防のしかた | 8 |
| 手入れのしかた | 9 |
| 故障したときは | 9～10 |

特長・各部のなまえ

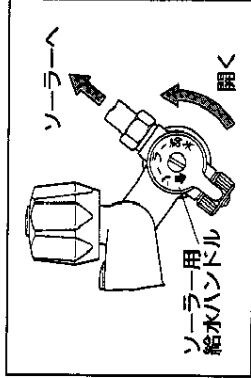
1. この器具ひとつで、太陽熱温水器及び給湯関係のバルブ操作をすべて行うことができます。
2. シャワーバスへの切替えと適温の状態で一時的に止水できる切替ハンドルが付いています。したがって一度温度調節をしておけばあとは切替ハンドルを操作するだけでほぼ同じ温度のお湯を出すことができます。
3. ハンドルは樹脂製ですので湯側も熱くなりません。
4. 適温に調節したままで、一時的に止水ができますので、温度調節のために無駄な水を流すことがありません。
5. 水抜コック付なので凍結の恐れがあるとき、太陽熱温水器の給水・給湯管の水を抜くことができます。



つかいかた

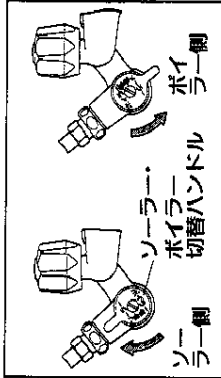
1. 各ハンドルの使用方法

(1) ソーラー用給水ハンドル



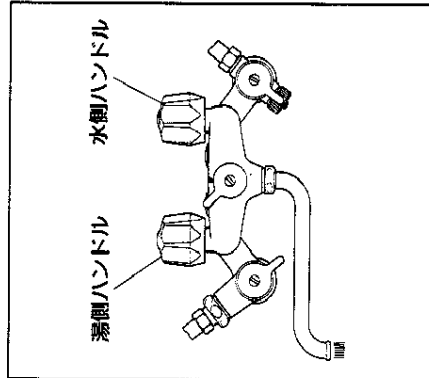
ソーラー(太陽熱温水器)へ給水したり止めたりするためのハンドルです。給水するときは矢印の方向に一杯に回します。止めるときは反対方向に一杯に回します。(※使用の際は、湯水ハンドル及び水抜コックを必ず閉じてください。)

(2) ソーラー・ボイラー切替ハンドル



ソーラー又はボイラー(給湯機)のどちらかの湯を使用するための切替ハンドルです。使用にあわせ矢印方向へ一杯に回して使用してください。

(3) 水側、湯側ハンドル

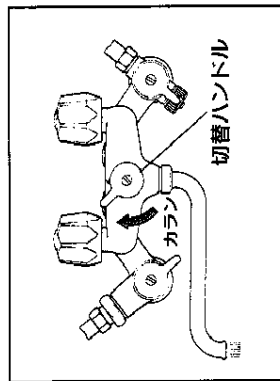


湯水の給水・止水及び使用する湯の温度・吐水量を調節するためのハンドルです。使用するときは水側ハンドルから先に開いてください。その後湯側ハンドルを開いて温度及び吐水量を調節してください。(※湯側から開くといさなり熱湯が出て危険です。)ただし、ソーラーを使用する場合や給湯機が瞬間湯沸器の場合には、湯側ハンドルを全開状態まで開き、次に水側ハンドルで湯加減をしてください。

(4)切替ハンドル

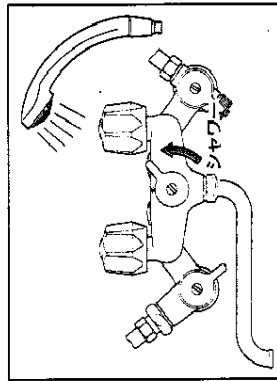
カラント水又はシャワー吐水に切替えるハンドルです。一時的にお湯を止めることもできます。

●カラント水



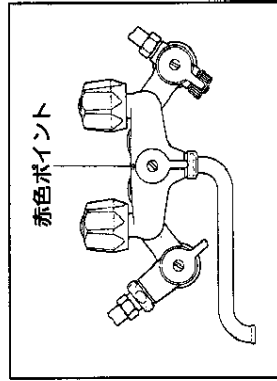
切替ハンドルを右に回すとカラントから吐水します。右へ一杯に回すと吐水量は最大になります。

●シャワー吐水



切替ハンドルを左へ回すとシャワーから散水します。左へ一杯に回すと吐水量は最大になります。

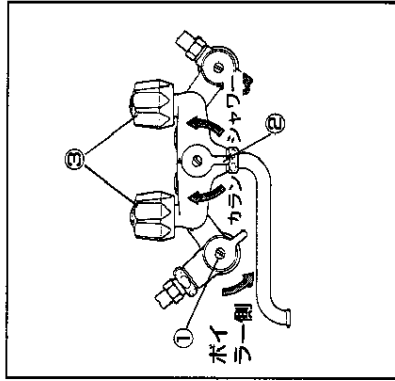
●一時止水



お湯を一時止めたいときは切替ハンドルの「止」と赤色ポイントを合わせてください。
(※使用中の一時止水のときだけ使用してください。)

2.ポイラーの湯を使用する場合の操作のしかた

- ①ソーラー・ポイラー切替ハンドルをポイラーの矢印方向へ一杯に回す。
- ②切替ハンドルをカラント側又はシャワー側に切替える。
- ③水側を先に開いて、その後湯側ハンドルを開き温度及び吐水量を調節する。



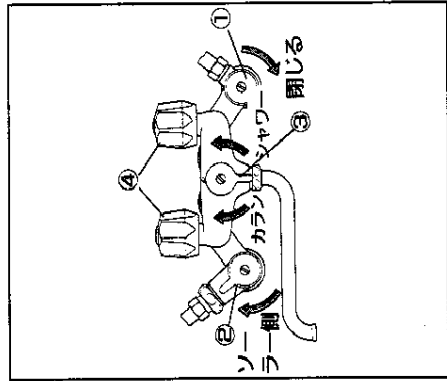
給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

- 1.湯側ハンドルは全開で使用ください。
- 2.湯沸器の温度調節つまみを(高)の位置にし、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
- 3.適切なシャワー量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで修正してください。

3. ソーラー(太陽熱温水器)の湯を使用する場合の操作方法

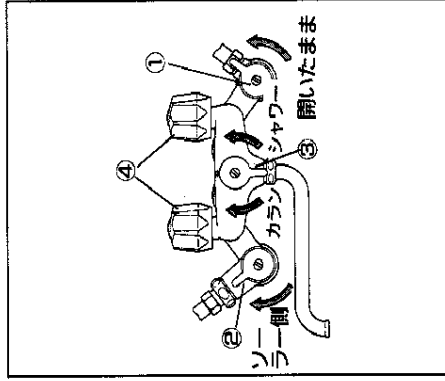
ソーラーの配管方式により操作方法が異なりますので、お取付工事店にご確認のうえ、それぞれ的方式に合わせてご使用ください。

A. ロット方式の場合



- ① ソーラー用給水ハンドルを閉じる。
- ② ソーラー・ボイラー切替ハンドルをソーラーの矢印方向へ一杯に回す。
- ③ 切替ハンドルをカラシ側又はシャワー側に切替える。
- ④ 湯側ハンドルを開き、湯の温度が高すぎる場合は水側ハンドルを開き温度及び吐水量を調節してください。

B. オーバフロー方式の場合

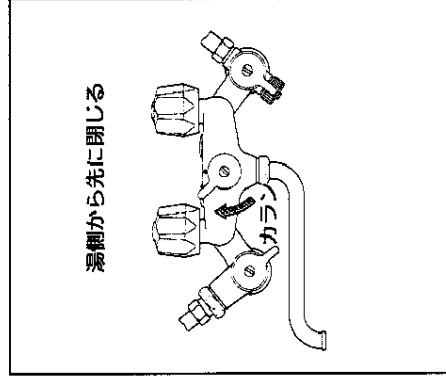


- ① ソーラー用給水ハンドルは、開いたままにしておく。
- ② ソーラー・ボイラー切替ハンドルをソーラーの矢印方向へ一杯に回す。
- ③ 切替ハンドルをカラシ側又はシャワー側に切替える。
- ④ 湯側ハンドルを開き、湯の温度が高すぎる場合は水側ハンドルを開き温度及び吐水量を調節してください。

※ソーラー(太陽熱温水器)が一階の屋根に設置されている場合

この場合には、給湯圧力が不足して満足なシャワー吐水量が得られないとがありますので別売の加圧ポンプ(RMS15)を給湯配管に組み込むと十分な吐水量が得られます。

4. 使用後の止水



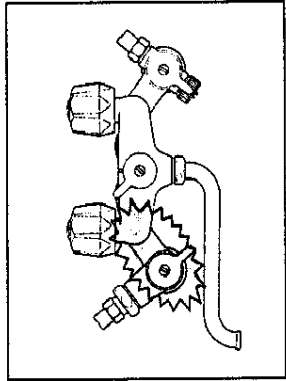
使用後は、必ず切替ハンドルをカラシ側に回し、湯側、水側のハンドルを閉じてください。

※湯側ハンドルを必ず先に閉じてください。水側ハンドルを先に閉じると熱湯だけが出るので危険です。また、切替ハンドルをシャワー側に合わせておくと次に使用するときいきなりシャワーをかぶる恐れがあります。

使用上の注意

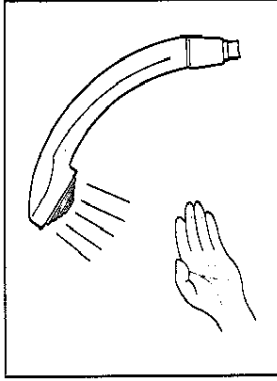
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意



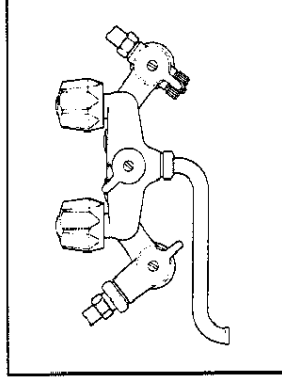
器具の左側は給湯側のため高温になっています。金属の表面に直接肌を触れないようご注意ください。

2. 使用前に湯温を確かめる



湯加減を調節後、そのままの状態ではカラシ側からシャワー側へ、またはシャワー側からカラシ側へ切替えた場合、湯温が若干変わることがあります。シャワー側へ切替えたときは、念のためもう一度手で湯温を確かめてからご使用ください。

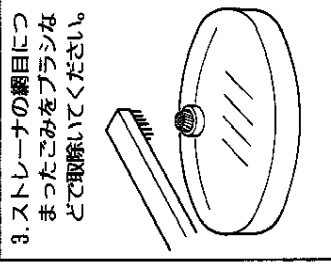
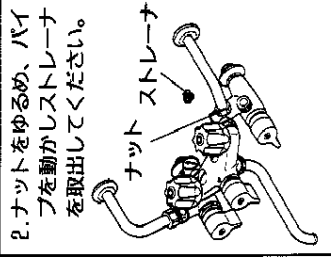
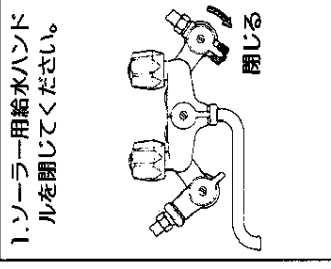
3. しばらく吐水させて使用する



一時止水後再使用するときは、給湯配管内に溜っていた高温の湯や時としては冷水が出るなど温度が変化することがあります。しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。

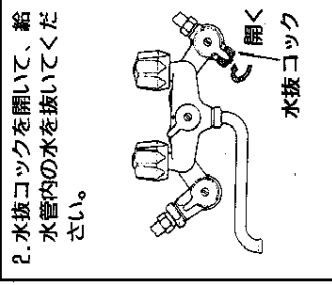
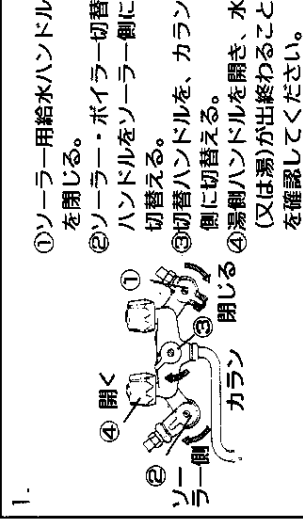
ストレーナの掃除

ストレーナがつまると給水時間が長くなったり、湯の出が悪くなるなど十分な機能が発揮出来なくなりますので、次の要領でストレーナをときときき掃除してください。



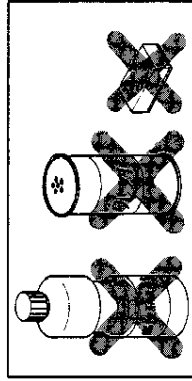
凍結予防のしかた

凍結のおそれがあるときは、次の手順で太陽熱温水器の給湯管及び給水管内の水抜きをしてください。ただし、混合栓本体及び混合栓の給水管内の凍結は防げませんので、他の水栓と同様に少量の水を流し続けるなど適切な凍結防止処置をしてください。



手入れのしかた

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように普段は柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失いますので付着しないよう十分注意してください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。なお、クレンザー、みがき粉や粗い粒子を含む



洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときは、すぐに器具を十分水洗いしてください。

故障したときは

故障の修理はお取付工事店が役所の指定工事店にご依頼ください。指定工事店がどこにあるかわからないときは、役所の上水道担当窓口にご相談ください。なお不明な点がございましたら最高の弊社事業所にご相談ください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に下表及び10ページ

の点検をしてください。
※ 下表及び10ページの点検方法は「外観写真」、「ストレーナの掃除」の項を参照ください。

| 故障内容 | 点検 | 点検項目 |
|--------------|--------|---|
| ■ ソーラーの湯が出ない | ① ② | ① ストレーナの目づまりはないか ② ソーラー用給水ハンドルは開かれているか (オーバーフロー方式の場合) |

| 故障 | 障 | 点検箇所 |
|---------------------------|----------------------|---|
| 水が止まらない | 湯水ハンドルを閉しても水が漏れる | 湯及び水側のハンドルの分解して“シート”及び“パッキン”のごみがみ傷などを点検する |
| | 切替ハンドルを“止”にしたとき水が漏れる | お取付工事店へご相談ください |
| 切替ハンドル部から水が漏れたりハンドルが自然に回る | | 切替ハンドルをはずしプライヤなどで締付ナットの締増しをする |

